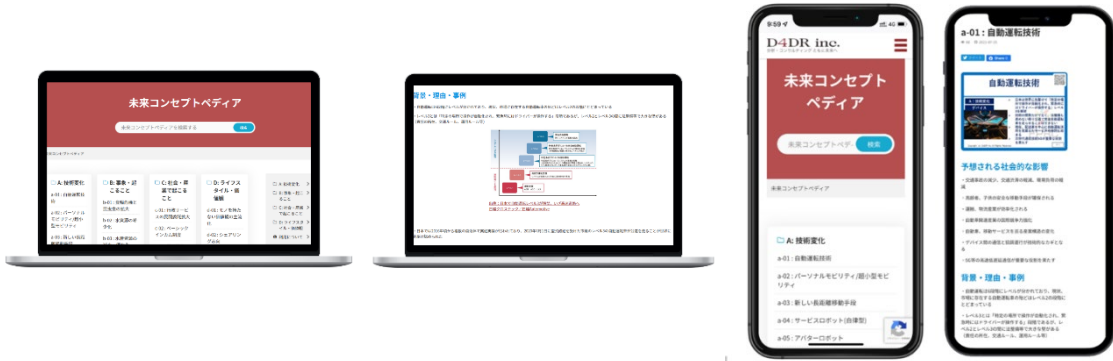


2030年～40年の未来戦略を考えるための画期的なナレッジベース  
**“未来コンセプトペディア”**  
 10/1から無料公開！

ディー・フォー・ディー・アール株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤元健太郎、以下 D4DR）の未来予測専門シンクタンク部門である「Future Perspective Research Center」（以下 FPRC \*1）は、2030年～40年をスコープとした未来社会の技術や事象、ライフスタイルなどを俯瞰的かつ網羅的に整理し、企業が長期戦略や新規事業立案、商品開発など多岐に活用できるナレッジベースを“未来コンセプトペディア”として2021年10月1日（金）に無料で公開します。



A 技術変化		B 事象 起こること	
<b>移動・モビリティ</b> 自動運転技術 パーソナルモビリティ・超小型モビリティの普及 新しい形態の移動手段 <b>ロボット・サイボーグ</b> サービスロボット/自律型ロボット/アバターロボット 作業用ロボット(家事・介護等) 人間拡張技術の開発/AIオーグメンテーション/デジタルメンタル フードプリンター・調理ロボット マイクロナノマシン <b>センシング</b> 低價の可視化技術 ウェアラブルデバイス	<b>IoT/情報伝送</b> <b>マニピュレーション</b> マイクロロボティクス <b>バイオ・食</b> 畜産動物化技術 高度水産技術 脳内ホルモンコントロール技術 食のモニタリング/パーソナライズ 植物性・畜産動物化技術 BMI(Brain Machine Interface) バイオプリンティング・移植用臓器・人工皮膚 ゲノム分析 ゲノム編集技術 臓器の製造・培養 人工生命体 <b>データ・インテリジェンス</b> 上場企業向けFA構築の自動化/RPA	<b>世界</b> 食糧危機と肉畜食の拡大 水資源の希少化 水資源の減少・悪化 情報格差の拡大・フェイクニュースの蔓延 新興国経済成長によるパワーバランスの変化 中国一極集中/中国リスクの増大 インド中国の多極化と対立の顕化 宗教の多様化と変遷 地球規模での人口増大 パンデミックの再発 世界的な感染症リスクの増大 大気汚染の低下・小気候の顕在化 伝染病・菌類の二極化 サイバーセキュリティの顕在化 国際的なサプライチェーンのリスク化	<b>日本</b> 世界的自由貿易の拡大 国際貿易の変化 社会格差の増大 日本国内の多極化・住民の多国籍化 地方自治体の弱体化 パンデミック・震災、富士山噴火による首都圏断絶 ストック市場の増大 国際的な貿易の増加 先進国の高齢化 少子化の人口減少 国内の自然災害リスクの増大
C 社会・産業で起こること		D ライフスタイル 価値観	
<b>制度</b> 行政サービスの民間委託拡大 ペンション/年金削減 電子署名化・マイナンバーの進展 LGBTQを認容する社会・制度の実現 <b>社会</b> 雇用主体社会への移行 既得の富の再分配の縮小 フードロス対策の広がり サークルエコノミーの発展 低炭素エネルギーの進展 エネルギーのコモディティ化 電源分散化・VPP(仮想発電所) センシング社会 AI/ITによるビッグデータの分析高度化 MeaS(社会行動手段のシームレス化) モビリティの変化による都市インフラの再編 コンパクトシティ化の進展 都市のスマート化	<b>経済</b> 情報リテラシー格差による生産性の拡大 教育格差の顕在化と教育制度の発展 可処分所得の増大(自己消費時間の増加) <b>消費</b> ネットワークによる生産性の拡大 サークルエコノミーの発展 応用経済の進展 オンラインエコノミーの拡大 経済格差市場の拡大 高級品市場の拡大 企業・労働者市場の拡大 競争・生産データの取得と運用 高度遠隔医療による医療サービスの向上・格差の固定 メタ現実(VR/AR)の多様化	<b>世界</b> 宅配サービスの自動化 情報銀行のビジネス 金融分野でのAI活用 金融サービスの多様化・柔軟性向上 企業格差の顕在化 小売市場での直接販売 宇宙ビジネスの市場拡大 海空ビジネスの市場拡大 DCIM(デジタルコンテンツマネジメント)によるデジタル化/製品開発 オムニチャネル・OMOマーケティング より柔軟なマーケティングのリアルタイム化/データ駆動型 D2C(Direct to Consumer) より柔軟な不確定性の活用 リアルタイム/分散型/自律型/機械学習 住宅設備のモジュール化・サービス化、スマート化、家電化 3Dプリンティング/デジタルファブリケーション/AR/VR/コズメー NFT(非代替トークン)によるデジタルコンテンツ市場の発展	<b>日本</b> マルチパーソナリティ 自己表現のハードル低下と承認欲求の顕在化 低炭素ライフスタイル 情報格差・貧困の顕在化 マインドフルネス 社会や地域への貢献による自己表現 コミュニティを重視する意識 パラレルな価値観 安心・安全を求める意識 あらゆるもののゲーム化(ゲーミフィケーション) エンタメとしての食 プログラミング的な食

## 《未来コンセプトペディア公開の背景》

多くの企業が混迷する VUCA 時代である現在において、自分達の未来に向けた方向性を考えていくことは必要不可欠です。そしてその答えは、安易に外部に求めるものではなく、自分達自身で考えるしかありません。しかし、テクノロジーの劇的な進歩や社会環境の大きな変化は多岐にわたり、網羅性のある書籍やセミナープログラムなども多くはありません。

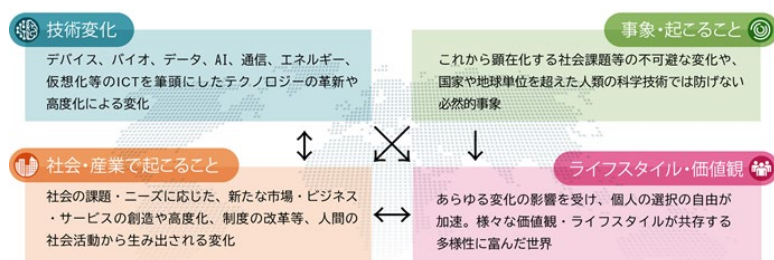
我々は、その思考を支えていく共通言語としてのナレッジベースが強く求められていると感じ、長年の D4DR でのコンサルティングを通じた経験と FPRC の調査研究活動を通じて、あらゆる業界・業種の企業、部署でも活用できるナレッジベースを開発し、公開することにしました。

このナレッジベースを公開することで、様々な形でご活用いただき、産官学の他業種の方々からのフィードバックを得ることも考えています。また、“未来コンセプトペディア”を通じたコラボレーションによる新たなサービス・価値を創造していく予定です。“未来コンセプトペディア”は、未来創造に役立つ集合知としてその価値と質を高め続け、変化と進化を続けていきます。

FPRC は「超長期戦略時代のサポーター」です。今回の“未来コンセプトペディア”の公開が、多くのみなさんが未来を創るために役立つことが我々の願いです。

## 《未来コンセプトペディアの活用方法》

未来コンセプトペディアでは、2030年～40年に起こりえる約150の未来仮説を、「技術変化」「事象・起こること」「社会・産業で起こること」「ライフスタイル・価値観」の4つにカテゴリライズしました。



“未来コンセプトペディア”は、扱いやすいようにカード化したツールも用意しています。今後は、このナレッジベースを活用したオンライン・オフラインの共創型ワークショッププログラムの高度化やオンラインサービスとしての開発も進めていきます。

## 《FPRC×未来コンセプトペディア》

FPRC では、技術変化やライフスタイル・価値観の変化といった軸で、10年、20年先の未来社会にとって重要なテーマを幅広く扱っています。ぜひ未来コンセプトペディアをご覧ください、メディア等での解説や特定分野の未来に関する知見が必要な際はお声掛けください。FPRC は、未来社会に関する情報発信にも貢献して参ります。

\*\*\*\*\*

### \*1 Future Perspective Research Center (FPRC) について

2019年4月10日に発足。これまで携わった様々なプロジェクトを通じて蓄えた知見をもとに、超長期的な未来と短期的な現在を遠近両面で見通すシンクタンク部門。未来社会を洞察し、実現可能な方法とともに遠近両面からの未来予想図を描き、発信している。

■Future Perspective Research Center 詳細ページ <https://www.d4dr.jp/fprc/>

## 《会社概要》

商号：ディー・フォー・ディー・アール株式会社 (D4DR inc.)

代表者：代表取締役社長 藤元健太郎

所在地：(本社) 〒108-0073 東京都港区三田 1-6-7 WATANABE ビル 2階

設立：2002年4月17日

事業内容：

1. Web サイト、SNS、EC サイトのプロデュース・評価
2. IT を活用したビジネス分野における戦略・マーケティングコンサルティング
3. 市場および消費者を対象とするリサーチ事業
4. 企業の知識創発支援、社内の知識創発システムの導入支援
5. IT 分野におけるコンソーシアム、各種委員会のプロデュース、事務局支援

資本金：2,000万円

URL：<https://www.d4dr.jp/>

■本件に関する報道・一般の方のお問い合わせ先

ディー・フォー・ディー・アール株式会社 吉田、斉藤

〒108-0073 東京都港区三田 1-6-7 WATANABE ビル 2階

e-mail：[info@d4dr.jp](mailto:info@d4dr.jp) TEL：03-3457-8646